

水害から身を守る

2019年の台風19号(令和元年東日本台風)では、全国各地で河川の氾濫や土砂災害が発生し、深刻な被害がもたらされました。近年深刻化する水害から身を守るため、洪水ハザードマップで自宅等にどのような危険性があるのかを確認し、適切な避難行動を取れるよう備えましょう。

洪水ハザードマップの見方

ハザードマップとは、災害が発生する危険性がある場所や避難場所等を示した地図です。ここでは、洪水ハザードマップで押さえておきたい6つのチェック項目をご紹介します！



区防災担当 水谷 福元

チェック1 **洪水ハザードマップの想定雨量**
2日間で約405ミリメートルの雨が降り、川の水があふれた場合や堤防が決壊した場合を想定しています。
※2019年台風19号では、2日で約200ミリメートルの雨が降りました(市内アメダスの観測データより)

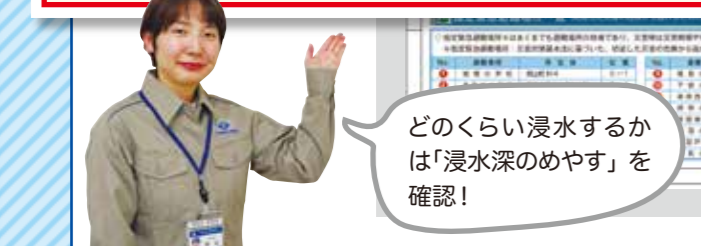


増水する鳥山川又口橋付近

チェック2 **浸水する深さ**
自宅等の場所が青・緑・黄で色付けされている場合は、浸水する恐れがあります。

凡例 浸水深のめやす

10.0~20.0m未満
5.0~10.0m未満
3.0~5.0m未満 2階部分まで浸水する深さ
0.5~3.0m未満 1階天井をこえて浸水する深さ
0.0~0.5m未満 おとなの膝まで浸かる深さ



どのくらい浸水するかは「浸水深のめやす」を確認！

チェック6 **裏面の確認**
裏面には、2日間で約792ミリメートルの降雨を想定したマップや情報の入手方法、災害時の備え等が記載されています。



マップの入手方法
区では、洪水ハザードマップの他にも、土砂災害や内水のハザードマップも配布しています。

印刷物(紙媒体)

- 横浜市行政地図情報提供システム「わいわい防災マップ」
→住所を検索して確認できます。
- 市ウェブサイト
わいわい防災マップ 検索
→各ハザードマップを閲覧できます。

ウェブサイトを

チェック3 **アンダーパスの確認**
アンダーパスとは、鉄道等の下を通過するため、周辺の道路よりも低くなっている箇所です。大雨が降った際に冠水し安全な通行に支障を来すため、避難する際は迂回する等、注意しましょう。



チェック4 **土砂災害警戒区域**
で囲まれた箇所は、土砂災害が発生した場合に、被害が及ぶ恐れのある区域です。



チェック5 **避難場所の確認**
洪水が発生する恐れがある場合、赤文字で示された小中学校や地区センターを避難場所として開設します。
※浸水する恐れがある場所の小中学校は、原則開設しません

避難行動を確認しよう

洪水ハザードマップで災害の危険性を確認した後は、実際にどのような避難行動を取るべきか、次のチャートで確認しましょう。

—洪水の場合—

自宅が浸水する恐れがある区域に位置している

いいえ

自宅待機 自宅で最新の災害情報を確認しましょう



はい

水平避難
安全な避難経路が確保できていれば速やかに避難！
安全な場所へ避難しましょう(区役所が開設する避難場所や危険な区域外の親戚の家等)



垂直避難
既に外が危険な場合、とにかく高い場所へ避難！
今居る建物の2階以上、または近所の高い建物へ避難しましょう



避難情報の収集方法を確認しよう

避難情報について

警戒レベル4(避難指示)で自宅が浸水する恐れがある場所または土砂災害警戒区域に入っている人は、**全員避難**しましょう。

警戒レベル	取るべき行動	避難情報
5	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
4	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
2	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報
1	災害への心構えを高める	早期注意情報

※災害対策基本法が改正され、避難情報の内容が変わりました。詳細は本紙3ページを確認してください

避難情報の収集方法

テレビ **NHKの場合**
①テレビのリモコンにある「dボタン」を押す
②画面右にある「地域の防災・生活情報」をクリック
③現在発令中の避難情報や開設中の避難場所、河川の水位情報等を確認

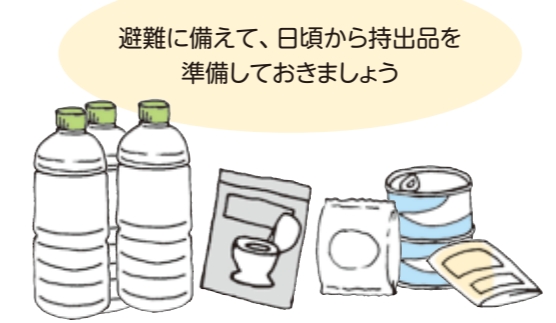
メール **横浜市防災情報Eメール**
防災情報Eメールを登録すると、気象情報や河川水位情報、避難情報等がメールで届き、すぐに確認できます。
登録方法 二次元コードを読み取るか、下記メールアドレスに空メールを送信してください。
entry-yokohama@bousai-mail.jp

アプリ **港北区防災情報アプリ**
避難所の確認や避難所までの経路を検索でき、さらに避難情報等をプッシュ通知で受け取れます。

持出品を準備しよう

避難時の持出品リスト

- 食料・水
- 懐中電灯
- モバイルバッテリー
- 感染症対策物品 (マスク、消毒液、体温計等)
- その他、各家庭で必要なもの
- 常備薬
- 携帯トイレ



避難に備えて、日頃から持出品を準備しておきましょう

新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難について

災害の危険性がある区域外に住んでいる人は、新型コロナウイルス感染症の予防のため**自宅待機**をお願いします。災害の危険性がある区域に住んでいる人は、**避難場所以外の安全な場所**(親戚・友人宅やホテル等)への避難も検討してください。
台風や大雨の場合の避難場所は換気が難しく、多くの人が避難した場合には3密(密閉・密集・密接)になる恐れがありますので、**手洗いやマスク着用、咳エチケット**を心掛けてください。